



フォレスターうじ 会報

第 264 号
令和3年2月1日 発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <http://foresuta-uji.o.oo7.jp>

一月特別活動

令和三年 安全祈願
活動日 一月十日(日) 晴
活動時間 十一時~十二時二十分
活動場所 天ヶ瀬森林公園
参加者 会員十三名

前週の寒波がやや緩み日差しのある中、境内に集合、新年の挨拶を交わした後、拝殿に昇殿した。神主の祝詞奏上に続き、玉串を神前に供え、参加者全員で今年一年の安全と新型コロナウイルス禍が早期に収束し従来どおりの活動ができることを祈願し、散会した。

(恒例の新年会については、多人数での飲食自粛要請が出ているため中止とした。)



1/10 宇治上神社にて安全祈願を終えて

一月定例活動の中止

近畿二府一県の緊急事態宣言の発令に基づき、一月十七日の定例活動を中止した。

但し、昨年十二月の定例活動の時制作した門松を片付けるため、深田会長、小林副会長、新宮A班班長と私の四名が、曇り空九時半に天ヶ瀬森林公園フォレスターうじ広場に集結した。

深田会長は、昨年来課題であったてんぐ巢病のサクラの伐採を行い、病にかかった枝を袋詰めし、持ち帰る作業を行った。残り三名は門松の片づけを行った。森後援会員から要望があり、竹の一部をお分けした。十一時過ぎには作業を終了し、宇治上神社のお札を二礼二拍手一礼しお祀りした。

残念な報告だが、門松に飾りつけた葉ボタンと南天が無くなっていった。ネットが設置してあるので獣害とは思えず、無念である。

(記 木曾 宗統)



1/17 宇治上神社のお札をお祀りした 写真提供 新宮邦春

1/17 無残にも葉ボタンと南天がなくなっていた門松 写真提供 小林清三郎



調査報告

生活環境保全林とは

小林 清三郎

林野庁は生活環境保全林を昭和四十八年から全国に約五百ヶ所設置した。平成十四年現在、京都府内に十四ヶ所あり、生活環境保全林百選に京都府では天ヶ瀬森林公園と甘南備山の二ヶ所が選ばれている。天ヶ瀬森林公園は昭和六十一年六月に開設された。京都府が整備し、昭和六十三年四月に開園した。

森林には、災害の防止や水資源のかん養などの機能がある。森林を散策することで心身に安らぎを感じる体験をすることを、森林の保健休養機能という。京都府では、荒廃した森林の整備を通じて、保健休養機能の高い森林を造成し、緑豊かな生活環境・自然環境の保全・創出を目指している。

天ヶ瀬森林公園では生活環境保全林として、遊歩道やあずま屋などの休憩施設の整備をしていくと宇治市から聞いているので、森林浴などのレクリエーションに是非とも利用してもらいたい。

(京都府のホームページから)

エッセイ

森林について学びの第一歩

林 幸広

フォレスターうじの会員として森林ボランティア活動をするようになって二年になりました。森林の中にいることが好きで、いろいろな人との出会いがあり、活動で汗を流せば健康に良いし、結果として森林保全に貢献できるならとても結構なことだと思っています。しかし、森林のことをあまり知らないことを痛感することもあり、少しずつ調べていきます。

大きなところから入ると、地球の面積の約三割が陸地で、その三分の一が森林です。つまり、地球の一分が森林で、面積でいうと四十億haになります。一番多いのは欧州で十億ha、南米で八億ha、北中米で七億haです。国土面積に占める森林の比率はフィランドが七三・九%、日本が六八・二%で第二位、続いてスウェーデンの六六・九%になります。ちなみに京都府は七五%が森林です。日本には二千五百haの森林があり、ここ四十年ほどは横ばいです。しかし、戦後の復興期に木材の需要が急激に増え、多くの植林がされても追いつかずに輸入品が八割を占めるようになった現在、森林体積は逆に五倍に増えたと言われています。

森林の役割としては木材や食料の供給以外に、以下の五つの公的機能があります。

- ① 水源涵養機能（洪水、渇水を緩和し、水質を浄化する）
 - ② 土砂災害防止機能（土砂の流出や崩壊を防ぐ）
 - ③ 保健・レクリエーション機能（安らぎや憩いの場を提供する）
 - ④ 生物多様性保全機能（多種多様な生物・植物を生息・生育する）
 - ⑤ 地球環境保全機能（CO₂を吸収・貯蔵する）
- 地球温暖化が問題となって一九九二年に地球サミットが行われ、同年にフォレストアージュが発足しました。一九九七年に京都議定書が採択され、二〇〇五年に発効し、同年京都モデルフォレスト協会が設立されました。森林保全活動は全国で取り組まれていますが、公的機能の⑤を主軸に③や④にも関わる活動が多いようです。日本は世界有数の森林国家であり、これを維持・活用していくことは大事ですが、森林を守るためには適切に伐採を行って資源として活用するとともに、跡地に植林を行って森林を若返らせることも大事なようです。次の機会にはその辺りを考えたいと思います。

エッセイ

落ち葉の散歩

木曾 宗統

僕は落ち葉を踏んで歩くのが好きだ。家の近くにある運動公園には雑木林の森がある。その雑木林の樹々は家の前から運動公園入口までの広い歩道の脇までせり出している。

去年の六月頃から、散歩を再開した。実は二年前の九月に右膝を患った時、それまで続けていた一日一回の散歩を止めたのだ。それまでも七月頃から九月頃まで暑さのせいで散歩を止めていたのだが、右膝を患った時はもう二度と散歩はできないと覚悟を決めていた。

その状態で半年以上経った時、本会の仲間と同じ地域に住むKさんが防犯の帽子と腕章とベストを譲ってくれた。しからば、地域の防犯のためまた散歩しなければと奮い立ち、まずは十五分弱ほど歩き始めた。そして二十分ほど地域の中を散歩できるまで復活した。ところが、毎朝散歩をしていることを弟に話したところ、「兄貴三十分は歩かないと運動にならないぞ」と喝するではないか。それで十一月から散歩の時間を二十五分超えに延長し、地域の公園や運動公園の歩道を散歩路線に追加した。

その公園の中に落ち葉があり、特に人が歩いていないところは下の土も柔らかくふわふわと気持ちいい。でも、壮観なのは運動公園の歩道、舗装された歩道一面に延々と落ち葉が広がっている。覆い被さるような大きな樹々が空に広がり、地面には落ち葉の絨毯、ひとりで散歩していると、わけもなく感傷的になる。そして散歩しながら頭の中を駆けめぐるのは、これまでに失敗したことか、気恥しい思い出ばかりであった。それでも落ち葉を踏みしめるのは宙を歩いているようで気持ちいい。

今後の活動・行事の案内

令和三年三月以降の予定です。

三月特別活動

三月七日（日）

・太陽が丘冒険の森の森林整備と

ドングリ苗木の地植え

三月定例活動

三月二十一日（日）

・天ヶ瀬森林公園の森林整備と

ドングリ苗木の地植え

フォレストアージュからのお報せ

会員募集中です。まずは一日体験から参加して下さい。

年会費 二千元 入会金 千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア「フォレストアージュ」事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三

編集後記

宇治市の施策として京都の杉材で天ヶ瀬森林公園にベンチや縁台などが十一台設置されることになった。保健休養機能の森林として、市民の皆さんに森林浴、ハイキングに來園してもらいたいものだ。会員の皆様からの投稿を心よりお待ちしております。お気軽に投稿ください。

（会報担当 木曾 宗統）
（写真担当 林 幸広）